

平成23年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社 積水工機製作所 上場取引所 大
 コード番号 6487 URL <http://www.sekisuihouki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢澤 征一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 湯川 浩次 TEL 072-858-1121
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	873	△16.5	△178	—	△169	—	△165	—
22年3月期第1四半期	1,045	—	△149	—	△144	—	△90	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△17.83	—
22年3月期第1四半期	△9.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	7,587	3,661	48.3	394.64
22年3月期	8,047	3,829	47.6	412.70

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,661百万円 22年3月期 3,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	△26.4	△250	—	△230	—	△240	—	△25.87
通期	5,700	△4.3	△170	—	△130	—	△180	—	△19.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	9,350,000株	22年3月期	9,350,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	72,099株	22年3月期	71,899株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	9,277,951株	22年3月期1Q	9,279,301株
----------	------------	----------	------------

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 受注の状況	10
(2) 販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の金型部門の状況につきましては、主要顧客である自動車メーカー各社の新車販売台数が徐々に回復し、新車開発計画に伴う需要も増加傾向にあります。当第1四半期の受注は、販売価格の低下が続く中、前年同四半期比7.4%増加しました。

産業機器部門の受注は、主要顧客の押出機関連の設備投資は徐々に回復しており、販売価格の低下が見られるものの、前年同四半期比66.7%増加しました。

全社の売上高は前年第4四半期の受注が低調に推移した影響をうけ、前年同四半期比16.5%減少しました。内訳は、金型部門が自動車関連を中心に前年同四半期比3.4%減少し、産業機器部門は押出機関連設備を中心に前年同四半期比54.5%減少しました。営業損益は、売上高の減少の影響と販売価格の低下に伴う低採算物件の増加により、178百万円の損失（前年同四半期は営業損失149百万円）となりました。経常損益につきましても169百万円の損失（前年同四半期は経常損失144百万円）となりました。四半期純損益は165百万円の損失（前年同四半期は純損失90百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は前連結会計年度末に比べ459百万円減少し、7,587百万円となりました。また純資産は四半期純損失等により前連結会計年度末に比べ167百万円減少し、3,661百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動で得られた資金は377百万円となりました。主な増加の内訳は、減価償却費91百万円と売上債権の減少870百万円等であり、主な減少の内訳は税金等調整前四半期純損失182百万円とたな卸資産の増加240百万円、仕入債務の減少179百万円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動で使用した資金は43百万円となりました。設備投資による支出が主な内訳です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で使用した資金は292百万円となりました。主な減少の内訳は、短期借入金の純減額200百万円と長期借入金の返済88百万円によるものです。

以上の結果、当第1四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、1,036百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社の関連する自動車メーカー各社を始めとする主要顧客の設備投資計画は徐々に回復に向かっていますが、第2四半期の業績回復は難しく、回復は第3四半期以降になると予測しています。したがって、平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を下方修正させていただきます。詳細は、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

原価差異の配分方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価の配賦を年度決算と比較して簡便的に報告セグメント区分により実施する方法によっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しています。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

・表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失(△)」の科目で表示しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,036,654	994,870
受取手形及び売掛金	1,370,645	2,241,079
仕掛品	670,125	429,539
原材料及び貯蔵品	38,834	39,230
繰延税金資産	90,218	67,027
その他	97,491	59,407
貸倒引当金	△2,500	△4,500
流動資産合計	3,301,469	3,826,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	916,407	933,638
機械装置及び運搬具（純額）	1,201,196	1,060,372
土地	1,883,795	1,883,795
建設仮勘定	—	65,140
その他（純額）	36,502	39,893
有形固定資産合計	4,037,901	3,982,840
無形固定資産		
ソフトウェア	67,927	47,817
その他	5,996	6,020
無形固定資産合計	73,923	53,837
投資その他の資産		
繰延税金資産	90,748	93,239
その他	106,683	113,383
貸倒引当金	△22,911	△22,911
投資その他の資産合計	174,521	183,712
固定資産合計	4,286,346	4,220,389
資産合計	7,587,815	8,047,043
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,222,392	1,401,561
短期借入金	1,553,320	1,753,320
未払法人税等	7,402	11,630
賞与引当金	121,698	87,300
設備関係支払手形	13,088	8,676
設備関係未払金	124,034	164,054
その他	186,930	151,140
流動負債合計	3,228,865	3,577,683

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	500,030	588,360
リース債務	145,216	—
長期未払金	45,335	45,335
退職給付引当金	6,897	6,597
固定負債合計	697,478	640,292
負債合計	3,926,344	4,217,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	1,229,598	1,394,989
自己株式	△17,134	△17,100
株主資本合計	3,656,614	3,822,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,856	7,027
評価・換算差額等合計	4,856	7,027
純資産合計	3,661,470	3,829,067
負債純資産合計	7,587,815	8,047,043

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,045,983	873,550
売上原価	1,012,430	893,020
売上総利益又は売上総損失(△)	33,553	△19,470
販売費及び一般管理費	183,259	159,258
営業損失(△)	△149,706	△178,728
営業外収益		
受取配当金	465	294
仕入割引	760	621
補助金収入	10,559	—
助成金収入	—	13,418
その他	56	932
営業外収益合計	11,842	15,266
営業外費用		
支払利息	6,211	6,245
その他	326	149
営業外費用合計	6,538	6,395
経常損失(△)	△144,401	△169,857
特別損失		
投資有価証券評価損	—	12,343
特別損失合計	—	12,343
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,401	△182,201
法人税、住民税及び事業税	2,672	2,400
法人税等調整額	△56,325	△19,210
法人税等合計	△53,653	△16,809
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△165,391
四半期純損失(△)	△90,748	△165,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,401	△182,201
減価償却費	80,641	91,184
受取利息及び受取配当金	△522	△676
支払利息	6,211	6,245
助成金収入	—	△13,418
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,343
売上債権の増減額(△は増加)	892,198	870,434
たな卸資産の増減額(△は増加)	△457,863	△240,190
仕入債務の増減額(△は減少)	△571,207	△179,168
未払消費税等の増減額(△は減少)	△89,142	△25,975
賞与引当金の増減額(△は減少)	62,652	34,398
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,386	300
その他	△10,728	△19,097
小計	△240,547	354,178
利息及び配当金の受取額	814	461
利息の支払額	△6,016	△6,194
助成金の受取額	—	33,214
法人税等の支払額	△159,652	△4,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△405,402	377,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△73,093	△18,055
その他	△114	△25,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,207	△43,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	499,999	△200,000
長期借入金の返済による支出	△107,080	△88,330
リース債務の返済による支出	—	△3,988
自己株式の純増減額(△は増加)	△109	△34
配当金の支払額	△28,585	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	364,223	△292,392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△114,386	41,783
現金及び現金同等物の期首残高	539,218	994,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	424,831	1,036,654

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、取扱製品である「金型」及び「産業機器」ごとに包括的な戦略を策定し事業活動を展開しています。

従って、製品セグメントである、「金型」及び「産業機器」の2つを報告セグメントとしています。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	778,422	267,561	1,045,983	—	1,045,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	778,422	267,561	1,045,983	—	1,045,983
セグメント損失(△)	△128,458	△21,247	△149,706	—	△149,706

(注) 前第1四半期連結累計期間についても、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しています。
なお、この適用による影響はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	751,796	121,753	873,550	—	873,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	751,796	121,753	873,550	—	873,550
セグメント損失(△)	△138,373	△40,355	△178,728	—	△178,728

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第1四半期連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	700,657	7.4	965,659	△22.9
産業機器	353,658	66.7	833,981	△24.3
合計	1,054,315	22.0	1,799,641	△23.6

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 販売の状況

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
金型	751,796	△3.4
産業機器	121,753	△54.5
合計	873,550	△16.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。